

## 【声明】

### 介護福祉士国家資格取得方法に係る経過措置延期の政府方針について

日本介護福祉士会としては、介護福祉士国家資格に本質的な価値を位置付けなければ、新たな介護人材の確保も、介護人材の定着も図れないものと考えています。昨年中に開かれた、社会保障審議会福祉部会や与党の介護委員会における発言、また厚生労働大臣宛に提出した要望書においても、介護福祉士国家資格の「取得方法の一元化」を確実に行うとともに、介護福祉士の役割・機能の明確化と、社会的評価を得るための制度的枠組の整備に向けた本質的な検討を行うことこそが重要であることを訴えてきました。

慢性的な人手不足の問題が急務の課題であり、外国人材の参入など社会情勢の変化については当会も十分理解しています。そのような状況だからこそ、国家資格の質の担保や価値の創出が何より重要なはずです。これからさらに介護ニーズが増大する我が国において、その中核的担い手であり、国家資格である介護福祉士の資格価値を高めることが、介護の質を担保するためにも不可欠と考えます。

今回の経過措置の延期の方針は、国民福祉向上のために、介護福祉士の資質向上を目指す職能団体としては、極めて遺憾です。

引き続き、人材確保に向けた本質的な議論を政府をはじめとする関係機関に働きかけるとともに、介護サービスの質の向上に向けた取り組みを行ってまいります。

日本介護福祉士会

会長 石本淳也